

教科	国語	科目	現代の国語	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍 『新編現代の国語(901)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座 教科書DVD

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 ①実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
 ②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。
	●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得（認定）に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
p. 12-22 「ルリボシカミキリの青」 「気になるニュースについて話そう」	1	①	I・Ⅲ期	1, 2, 3, 4	P. 12-17 P. 78-85	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。							
主体的に学習に取り組む態度	粘り強く筆者の主張の要旨を捉え、今までの学習を生かして自分の興味・関心を確認し、考えをまとめ、伝えようとしている。							
知識・技能	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。							
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。							
主体的に学習に取り組む態度	粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し、学習課題に沿って実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合おうとしている。							
p. 49-66 「言葉と生活 1」 p. 78-86 「無彩の色」	3	②	Ⅱ期	5, 6, 12, 13	P. 152-159 P. 193-201		知識・技能	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで筆者の「灰色」に対する価値観や主張を理解し、学習課題に沿って色彩に対する自分の考えを深め、発表しようとしている。							
知識・技能	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。							
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。							
主体的に学習に取り組む態度	粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしている。							
p. 190-192 「推論の仕方」 p. 193-201 「真の自立とは」	6					知識・技能	言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。							
主体的に学習に取り組む態度	積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめようとしている。							

教科	国語	科目	言語文化	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『新編言語文化(901)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座教科書DVD

学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 ①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。  
 ②論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。
	●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間(6割減免)まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導(視聴票を含む)を全て修了後に受験。
単位修得(認定)に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
P. 53-74、P. 172-176 詩歌、「古文学習のしるべ5」	1	①	Ⅰ・Ⅲ期	2, 3, 7, 8	P. 76-91	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで、和歌などの歌における表現の特色を理解し、学習課題に沿って、詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取ろうとしている。							
知識・技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。							
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。							
P. 75-96 「羅生門」「言語活動・元になった古典作品と読み比べよう」	2	②	Ⅱ期	9, 10, 12, 14	P. 128-129 P. 218-227 P. 246-249		知識・技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで歌物語の特徴や表現の仕方、古典を元にした絵画・工芸について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えたり、和歌を書き換えたり、文章の内容を捉え直したりしようとしている。							
知識・技能	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。							
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。							
P. 123-144 「児のそら寝」「古文学習のしるべ1・2・3」	3	②	Ⅱ期	9, 10, 12, 14	P. 128-129 P. 218-227 P. 246-249	知識・技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。	
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで歌物語の特徴や表現の仕方、古典を元にした絵画・工芸について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えたり、和歌を書き換えたり、文章の内容を捉え直したりしようとしている。							
知識・技能	我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。							
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。故事成語の元になった話を読み、故事成語の果たす役割について考えようとしている。							
P. 154~162、178~179、197~205、266~271、巻末7~8 古語を調べるために「枕草子」「古文学習のしるべ4」「奥の細道」	4	②	Ⅱ期	9, 10, 12, 14	P. 128-129 P. 218-227 P. 246-249	知識・技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで歌物語の特徴や表現の仕方、古典を元にした絵画・工芸について理解し、学習課題に沿って、各章段に描かれた内容を的確に捉えたり、和歌を書き換えたり、文章の内容を捉え直したりしようとしている。							
知識・技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。							
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、論語や史話のおもしろさを味わおうとしている。							
P. 218-234 「訓読の基本」「故事成語—三編」	5	②	Ⅱ期	9, 10, 12, 14	P. 128-129 P. 218-227 P. 246-249	知識・技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、論語や史話のおもしろさを味わおうとしている。							
知識・技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。							
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、論語や史話のおもしろさを味わおうとしている。							
P. 246-261 「論語—八章」「史話—三編」	6	②	Ⅱ期	9, 10, 12, 14	P. 128-129 P. 218-227 P. 246-249	知識・技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、論語や史話のおもしろさを味わおうとしている。							
知識・技能	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。							
思考・判断・表現	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基的に確に捉えている。「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。							
主体的に学習に取り組む態度	進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、論語や史話のおもしろさを味わおうとしている。							

令和8年度 年間指導計画

鹿島学園高等学校 通信制課程

教科	国語	科目	国語表現	原簿区分	選択	使用教科書	東京書籍 「国語表現102」
添削指導 回数	12	面接指導 回数	4	単元認定試験 回数	1	副教材等	NHK高校講座 教科書DVD

学習の目標

- 1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
- 2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- 3) 言葉がもつ態度への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間中に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。
面接指導	●視聴録：面接指導の出席と合わせ、①～④の計4時間となるように提出する。 ※視聴録による減免は原則1時間(6割減免)まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導(視聴録を含む)を全て修了後に受験。
単位修得	(認定)に当たっての基準
評価方法	各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴録 NHK高校講座	教科書DVD		観点	評価規準
p.16～33「1 分かりやすく説明しよう」 p.212～213「同音異義語」	1						知識・技能 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。
p.46～65「3 問いを考えよう」 p.212～213「同音異義語」	2	①	I・Ⅲ期	5.14, 22.23	p.4～65	知識・技能 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。	
p.66～75「4 「自分」を表現しよう」 p.213～214「同音異義語」	3					知識・技能 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。	
p.76～81「4 「自分」を表現しよう」 p.213～214「同音異義語」	4					知識・技能 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。	
p.82～111「5 論理的な文章を書こう」 p.213～214「同音異義語」	5	②	I・Ⅲ期	6.8, 26.27	p.66～111	知識・技能 自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。	
p.82～111「5 論理的な文章を書こう」 p.215～217「三字熟語・四字熟語」	6					知識・技能 自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。	
p.112～127「6 話し合う力を付けよう」 p.215～217「三字熟語・四字熟語」	7					知識・技能 自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。	
p.128～139「表現と読書活動」 p.215～217「四字熟語」	8	③	Ⅱ期	11.13, 30.31	p.112～153	知識・技能 自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができる。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。	
p.140～153「7 情報活用力を身につけよう」 p.218～219「故事成語、ことわざ・慣用語」、p.220「対義語」	9					知識・技能 自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めることができる。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。	
p.154～167「8 説得力のある提案をしよう」 p.218～219「故事成語、ことわざ・慣用語」、p.220「対義語」	10					知識・技能 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。	
p.168～187「9 表現を楽しもう」 p.188～193「心をつかむ表現」 p.220「類義語」、p.221「助数詞」	11	④	Ⅱ期	18.24.25, 32	p.154～211	知識・技能 自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。	
p.194～211「付録」 p.221「助数詞」	12					知識・技能 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けしている。自分の思いや考えを多様に表現するために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。	主体的に学習に取り組む態度 粘り強く表現を工夫し、今回の単元で学習した内容を生かして 自身の意見を述べたり簡潔な文章にまとめようとしている。	

全課程から問題を出題する。

令和8年度 年間指導計画

教科	国語	科目	文学国語	履修区分	選択	使用教科書	東京書籍 『文学国語(701)』
添削指導 回数	12	面接指導 回数	4	単元履修回数	1	副教材等	NHK高校講座 教科書DVD

**学習の目標**  
 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。  
 ①生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。  
 ②深く高感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
 ③言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わりあう態度を養う。

**学習に取り組む際の注意事項**

添削指導	提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。
面接指導	●客観的に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴覚：面接指導の出席と合わせ、①～④の計4時間となるように提出する。 ※視聴覚による減免は原則1時間(6割減免)まで。 ※視聴覚による減免は原則1時間(6割減免)まで。
単位履修	添削指導・面接指導・視聴覚(視聴覚を含む)を全て修了後に受験。
評価方法	1を單元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

**学習内容・計画**

単元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導		視聴覚 教科書DVD	単元認定 試験	観点別評価	
		開講期	開講期			知識・技能	思考・判断・表現
p. 8~14「光の意」 p. 44~49「言葉を生きる」	1					知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。
p. 20~33「山月記」	2	①	I・Ⅲ期 13. 21, 22	p. 20~33		知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通じて、内容を解釈している。「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、作品の解釈を深めている。
p. 58~70「山椒鬼」 p. 92「文学への扉『小説は誰のものか』」	3					知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方や解釈の多様性について考察している。「読むこと」において、作品に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉えとともに、作品が成立した背景や他の作品などとの関係性を踏まえ、作品の解釈を深めている。
p. 98~103「赤松の朝」 p. 104~107「硝子の駒—短歌抄」	4					知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通じて、内容を解釈している。
p. 116~147「こころ」	5	②	I・Ⅲ期 23. 24, 25, 26	p. 116~147		知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通じて、内容を解釈している。
p. 150~160「文学のふるさと」	6					知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。
p. 190~198「国語から旅立つて」 p. 199~204「書かれた風景の中へ」	7					知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。
p. 206~216「檸檬」	8	③	Ⅱ期 34, 45, 46	p. 206~216		知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通じて、内容を解釈している。
p. 228~229「橋達」 p. 232~235「金剛の露—俳句抄」	9					知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通じて、内容を解釈している。
p. 266~289「父と暮せば」	10					知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。
p. 330~334「演説する「私」」 p. 335~344「映画の可能性のために」	11	④	Ⅱ期 54, 55, 56	p. 228~229 p. 232~234		知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を深めている。
p. 348~361「黒杖と魔笛」 p. 362~372「鏡」	12					知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。文学的な文章における文体の特徴や修辭などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。文学的な文章を読むことを通じて、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。人間、社会、自然などに対するもの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。	思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方について考察している。

全課程から問題を出し、出題する。

教科	学校設定	科目	論理国語入門	履修区分	選択	使用教科書	『ロンリのちから』三笠書房
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座

学習の目標

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。  
 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  
 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する（タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ）。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。
単位修得	（認定）に当たっての基準
評価方法	各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
p. 15～40 「01三段論法」 「02誤った前提・危険な飛躍」	1	①	I・Ⅲ期	1, 2, 3, 4	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	論証を行うための文の展開や法則について、正しく理解する。	
p. 41～56、73～86 「03逆さまのロンリ」 「05水掛け論・理由を言う」	2					思考・判断・表現	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握する。	
						主体的に学習に取り組む態度	言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	
p. 57～72 「04接続表現・ことばをつなぐ」	3					知識・技能	文や論の構成や展開の仕方について理解を深め、正しく使用する。	
						思考・判断・表現	情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえる。	
						主体的に学習に取り組む態度	言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。	
p. 87～102 「06暗黙のロンリ」	4	知識・技能	文や文章の効果的な組み立て方や接続詞の使い方について理解を深め、正しく使用する。					
		思考・判断・表現	個々の文の表現の仕方や接続詞を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫する。					
		主体的に学習に取り組む態度	言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。					
p. 103～136 「07仮定形成」 「08否定のロンリ」	5	②	Ⅱ期	7, 8, 9, 10		知識・技能	推論の仕方や否定の方法について理解を深め、正しく使用する。文の展開を論理的に読み解き、文の意図する内容を理解する。	
		思考・判断・表現				主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。		
		主体的に学習に取り組む態度				言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。		
p. 137～165 「09類比論法」 「10合意形成」	6	知識・技能	主張とその前提や反証など、情報と情報との関係について理解を深める。					
		思考・判断・表現	文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。					
		主体的に学習に取り組む態度	言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。					